

「慰霊の日前夜祭 平和の光の柱」

公益財団法人沖縄県平和祈念財団

6月23日は慰霊の日。

68年前の3月26日に座間味島に上陸した米軍は、4月1日には読谷や嘉手納、北谷の海岸へ上陸しました。その後の約3か月、女子供、年寄りをも巻き込んだ悲惨な戦闘が繰り広げられ、多くの住民や兵士が亡くなりました。

沖縄戦終焉の地糸満摩文仁の平和祈念公園においては、より遠く、より広く、より多くの県民と共に厳かに慰霊の日を迎え、世界に平和を発信するため、平和を願う心を灯火に託して沖縄全戦没者追悼式の前夜祭行事を実施します。

平和の丘で5本の平和の光の柱を照射し、池には約1000本のとうろう流しを浮かべ、平和の礎で4千500本の平和の灯火を点灯します。

平和の光の柱は、索敵のため軍隊が使ったサーチライトを平和の象徴・平和の光として転用し、戦没者の御霊の依代となる白木の標柱に見立て、平和の光の柱として荘厳な一筋の光で天と地を結ぶものです。式典広場の平和の丘から直立する神秘的な青白い光は、見る者を感動させることでしょう。(22・23両日20時から)

また、平和の礎前の池に浮かべるとうろうは、希望者に慰霊や平和のメッセージを書いていただき、ろうそくを点けて流すもので、真っ暗な水面にゆらめく光が戦没者に語りかけます。(22・23両日19時から)

一方、平和の灯火は公園エントランス広場と戦没者刻銘板の間の通路に灯されます。漆黒の闇の中、黒御影石の刻銘板に灯火が映り、厳粛な雰囲気醸し出すことでしょう。台湾と香港でも強調して点灯されます(22日のみ18時から)

平和の光の柱の凜とした輝きの下で、生き物のように水面で揺らめくとうろう流しの池の畔で、平和の灯火の静かなゆらめきの中で、68年前に沖縄であった苛烈な戦争とその犠牲者の上にある今日の日本の平和、世界の各地で起きている国際・地域紛争について考える契機としていただければと思います。

参観の皆さまも16時頃からキャンドル設置のお手伝いができます。また、携帯電話をお持ちの方は、園内で照明をオンにして、平和の灯火や平和の光の柱とコラボしてください。

とうろう流しの簡単な組立てキットは、材料協力費として1個百円の御協力をお願いします。また、事前に欲しい方には着払いで郵送いたしますので、沖縄県平和祈念財団(098-997-2765)までご連絡ください。

平和の光の柱による“平和のトライアングル”

平成 25 年 6 月 13 日
公益財団法人沖縄県平和祈念財団

1 事業実施の背景

沖縄侵攻を窺う米軍は、昭和 20 年 3 月 26 日に初めて沖縄県座間味村に、続いて 4 月 1 日には沖縄本島中部、現在の読谷村・嘉手納町・北谷町に上陸した。

これ以降、多数の民間人を巻き込んだ約 3 か月に及ぶ悲惨で苛烈な地上戦が沖縄において繰り広げられた。

そして、6 月 23 日、沖縄守備に当たった第 32 軍牛島司令官の糸満市摩文仁における自決により、組織的戦闘が終結したとされる。

この悲惨で苛烈な沖縄戦も戦後 68 年を経過し、戦争体験者が減少するにつれ国民の記憶から薄れつつある。

2 本事業の目的

米軍の沖縄県内への初上陸地である座間味村、沖縄本島への初上陸地のひとつである読谷村、そして沖縄戦終焉の地である糸満市摩文仁を“平和のトライアングル”として、戦時中は軍用だったサーチライトを慰霊・平和の象徴「平和の光の柱」として全戦没者之霊の標柱に見立てて、それぞれの地から天空に照射するものである。

これにより、糸満市や座間味村・読谷村の平和の光の柱を遠方から見ることができるようにし、悲惨な戦争の犠牲者に対して県民が思いおもいに平和を祈り語っていただき、平和を希求する県民の一体感・達成感を醸成するとともに平和教育につなげて若者へ慰霊・平和を継承させ、戦争体験の風化を防ぐことを目的とする。

3 内容・スケジュール

	6/ 22 (土)	6/ 23 (日)
08:30	平和の広場の平和の火を点火	~6/23 22:00
18:00 -21:00	平和の礎及びエントランス広場等において「平和の灯火」点灯式の後、キャンドルを点灯する	—
18:30	平和祈念堂の前夜祭に先立ち、沖縄平和祈念堂で「平和の光の柱によるトライアングル 平和のメッセージ伝達式」 座間味村・読谷村からリレーで送られた平和のメッセージを糸満市へ伝達するとともに糸満市の平和のメッセージを披露する。	—
19:00 -21:00	平和の礎前の修景池において期間中計 1000 個の「とうろう流し」を実施する。希望者は、公園案内所で受け付け、同所内でとうろうに平和のメッセージを書いて組み立て、点灯したまま池まで移動、係員の指示のもとで流す(無料)	
20:00 -22:00	平和祈念公園平和の丘で、「平和の光の柱」(サーチライト)を上空に照射する	
20:30	「平和の光の柱 点灯式」(平和祈念堂玄関前)	—
20:35	点灯式再点灯	—

参加者は見るだけでなく、平和祈念公園内において携帯電話の灯りや懐中電灯等により上空を照射し、参加の意思を表示してください。(22・23 両日)